

“おた”って、有償たすけあいシステム“おたがいさま”のこと!

“おたがいさま”のある暮らし

① いつ生まれても大丈夫だよ!



県外出身の若いお母さん。二人目の出産が近づきました。夫が仕事でいない夜もあり不安そうです。複数の応援者さんと共に、みんなで“誕生”を楽しみに待ちました。

利用者：ひとりの時にお産が始まったら、病院まで付き添ってもらえることが分かり、ほっとしました。

応援者：実際にはご主人がおられる日でも応援はなかったのですが、無事に生まれよかったですね!

おた：いざとなったら駆けつけてくれる人がいる“安心感”は大きいですね。

④ あきらめていた同窓会



目の不自由なタマエさん、同級生に誘われて応援者と一緒に同窓会に行くことができました。

利用者：あきらめていたのに、同級生のみんなに会えたんですよ。うれしかったわ。

応援者：タマエさん、本当に楽しそうでした。それに、同級生の皆さんが大変喜んでおられましたよ。

おた：応援者は、事前に介助の勉強もされたと聞きました。だから安心して応援できたんですよ。

② 息子の応援デビュー!



高校生ヒロシ君の初めての応援は、高齢者宅の清掃でした。ヒロシ君のお母さんが「社会勉強に」と登録を進めてくれました。

利用者：若い人に来てもらって、本当に助かりました!元気をもらいましたわ。

応援者：僕にはやりやすい仕事でも、高齢の方には大変なんだなあ...

おた：お母さんが「息子も、自分の世界が広がり、社会や地域に目を向けるようになった」と、喜んでおられました。

⑤ 一緒に作って食べましょう!



離れて住む娘さんの依頼です。退院後ひとり暮らしの女性(80歳代)の食事づくりの応援を始めました。しかし、あまり食べておられないことに気付き、その後は一緒に作って食べる応援になりました。

利用者：ひとりで食べていた母も、おしゃべりしながらの食事で、少しずつ元気になってきました。

応援者：親にはしてあげられなかったけれど、お役に立ててうれしいですね。

おた：一緒に食べる応援って“おたがいさま”ならごはごは!

③ 妻の笑顔が見たくて!!



入院中の妻の笑顔が見たいと、普段から応援している“おたがいさま”に夫から依頼がありました。

利用者：「女性はメイクがあると、元気になる!」と聞きました。私にはできないのでお願いします。(夫)

応援者：お二人の笑顔が見られて幸せな気持ちになったわ!楽しい応援でした。

おた：家族の想いに寄り添った応援ができ皆うれしくなりました。

⑥ 実家が気になるなあ...



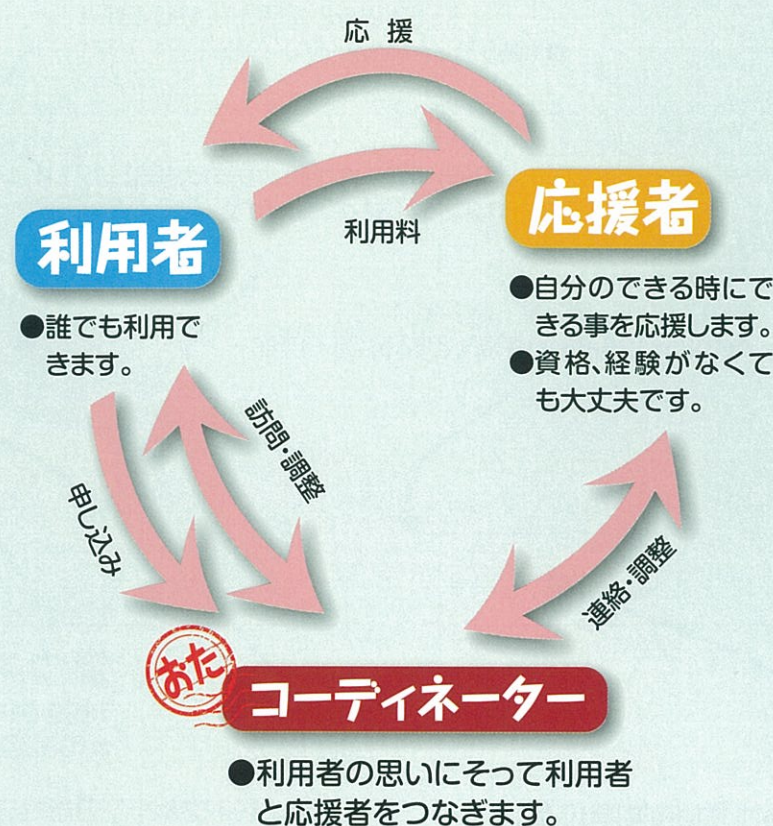
空き家の掃除や風通し、ひとりで行けなくなった墓参りや墓掃除の依頼が増えています。

利用者：なかなかお墓参りに行けないし、ご先祖様に申し訳ないわ。

応援者：家が近いので、私、行きますよ!

おた：「島根に“おたがいさま”があってよかったわ。」と喜ばれました。

つながるしくみ



*“おたがいさま”は有償のたすけあいシステムです。
*利用料等については、各“おたがいさま”にお問い合わせください。(年会費等は必要ありません)

めざしていること

- 1、困ったな、こうなったらいいなと思う人(利用者)と、誰かの役に立ちたいという人(応援者)をつなぎ、その人らしく生きていくことを大切にします。
- 2、人と人が出会う事で感じる、温かさ、安心、元気、自分らしさ、仲間と創る楽しさを大切に、共に生き、より安心して住むことが出来る地域社会をめざします。